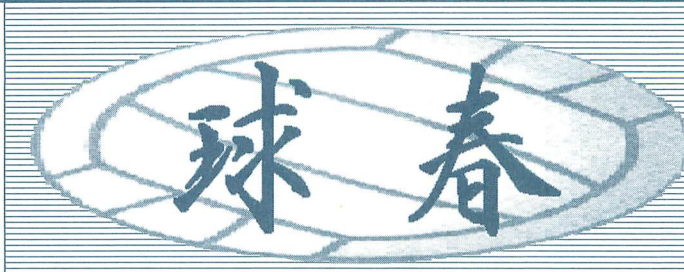
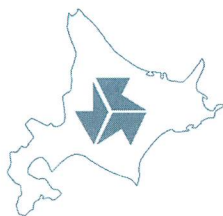


《第2号》

発行所 北海道高等学校
体育連盟バレーボール専門部

発行責任者 関原 栄司

編集責任者 高田 志朗

北海道小樽市最上1-33-21

平成20年 11月15日 発行

第61回記念 北海道高等学校バレーボール競技選手権大会

期日:平成20年6月18日(水)～21日(土)

会場:小樽市

当番校:小樽商業高等学校

男子優勝 札幌第一高校

準優勝 とわの森

3位 尚志学園 白樺学園

女子優勝 札幌大谷高校

準優勝 札幌山の手

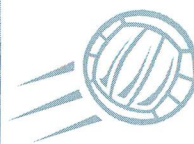
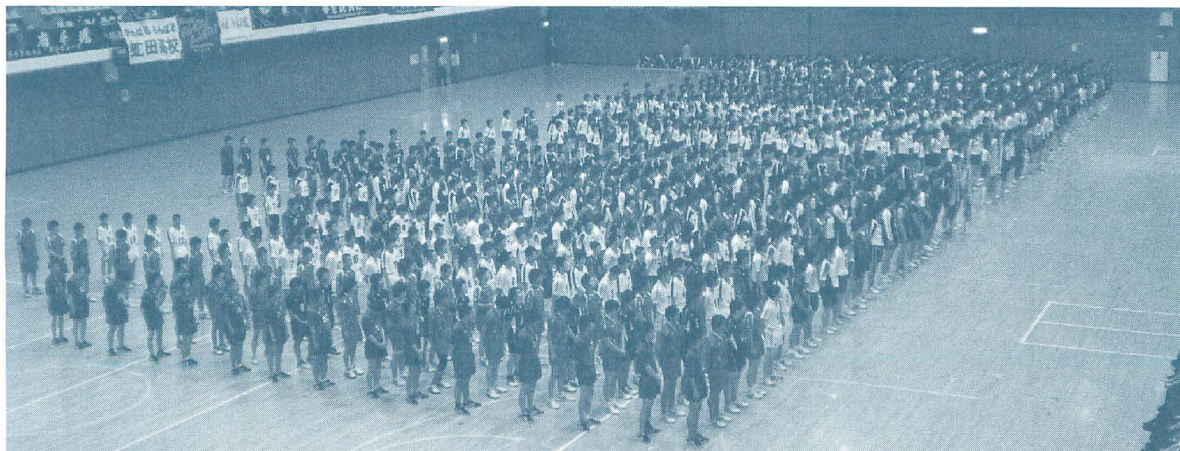
3位 旭川実業 帯広南商業

「伝統とロマンの街 小樽」で第61回北海道高等学校バレーボール競技選手権大会が小樽市総合体育館を中心に開催されました。当番校である小樽商業高等学校の教職員・生徒の皆さんの1年前からの入念な準備によって、無事に大会を終了することができました。開会式における「優秀入場行進賞」を実施してから2年目になりますが、参加全チームが皆素晴らしい入場を披露してくれるようになりました。女子受賞校が妹背牛商業になりましたが、来春閉校する伝統校の輝かしい歴史に1ページを添えることが出来ました。

今年は、新監督のチームやこれが最後の大会になるチームなどそれぞれに想いが詰まった中での大会でした。そうした中でも私学優勢の傾向は変わらず、男女ベスト4の8チームのうち公立高校は帯広南商業高校の1チームのみという状況でした(それが良いとか悪いということではありません)。心配なのは支部予選から含めた、全体のチーム数と参加選手の減少です。今年はオリンピックの年、男女揃って出場するので、それが起爆剤になってくれればと期待したいものです。来年の稚内大会への更なる発展を祈念しております。

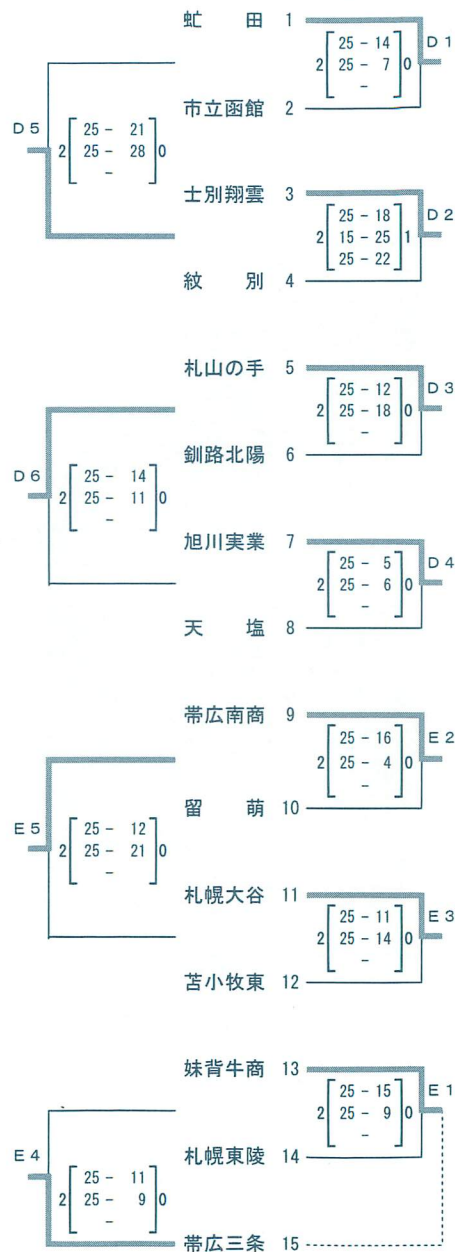
【男子評】 男子は8年ぶりに札幌第一高校が優勝、長身出末田、大砲佐藤を擁し、新人・選抜・高体連の三冠を奪取しました。準優勝のとわの森はベテランセッター矢野で逆転を狙いましたが札幌第一の破壊力の前に苦杯を喫しました。3位になった尚志学園と白樺学園は大逆転の全国狙いで大会に臨みましたが両者とも準決勝でフルセットの末に敗れてしまいました。常連の函大有斗は山田伸二前監督がコーチとなり、小樽工業は昨年度まで審判委員長を務めていた丸山道博先生が監督として初参加しました。

【女子評】 女子については、何と言っても札幌山の手が13年振りの全国キップを手中にしたことでしょう。ストレートで旭川実業を退けた準決勝はその実力を裏付けています。スパイクにサーブに活躍した1年生の黒田選手の健闘が光りました。一方、ここ3年連続ファイナルカードの札幌大谷 vs. 帯広南商が今年は準決勝で顔合わせとなり、予想通りの大接戦。圧巻は2セット目終盤、デュースに入るも両者の攻防は留まるところを知らず、30点を越えても決着がつかず満員の会場を大いに湧かせました。また、今大会は紋北・滝上の合同チームが決勝トーナメントに進み大健闘したことが話題となりました。

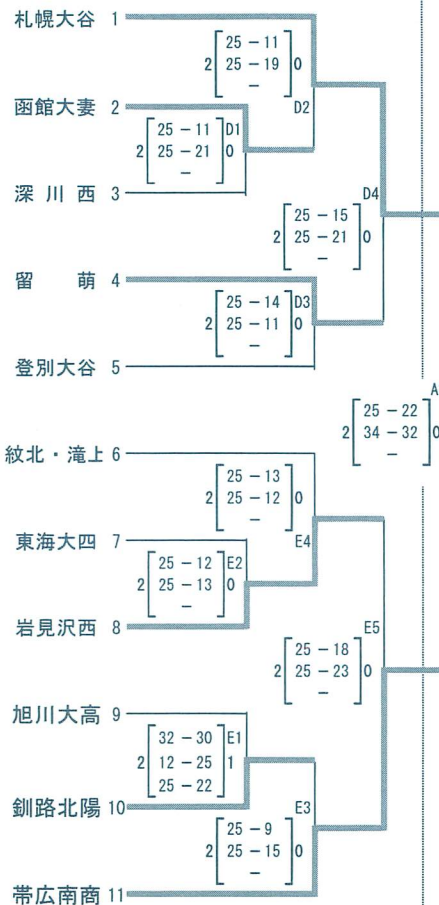


平成20年度 第61回 北海道高等学校バレーボール競技選手権大会 女子

6月19日(木)
(小樽潮陵高校体育館)



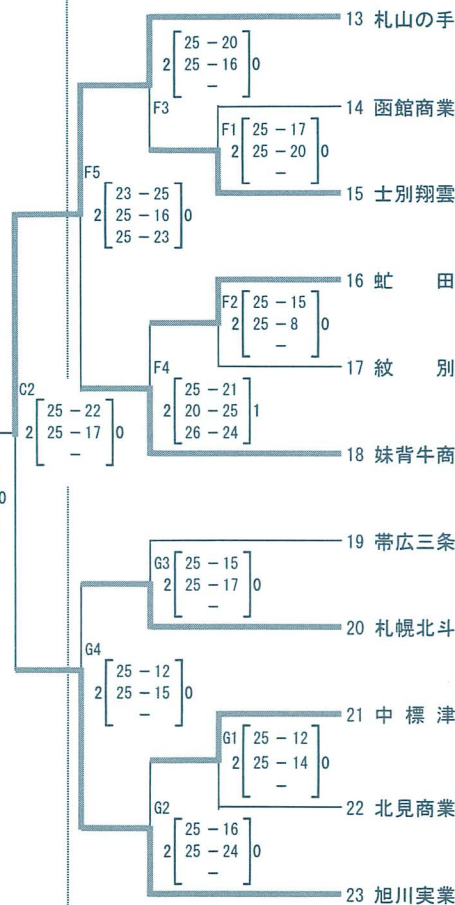
6月20日(金)
(小樽潮陵高校体育館)



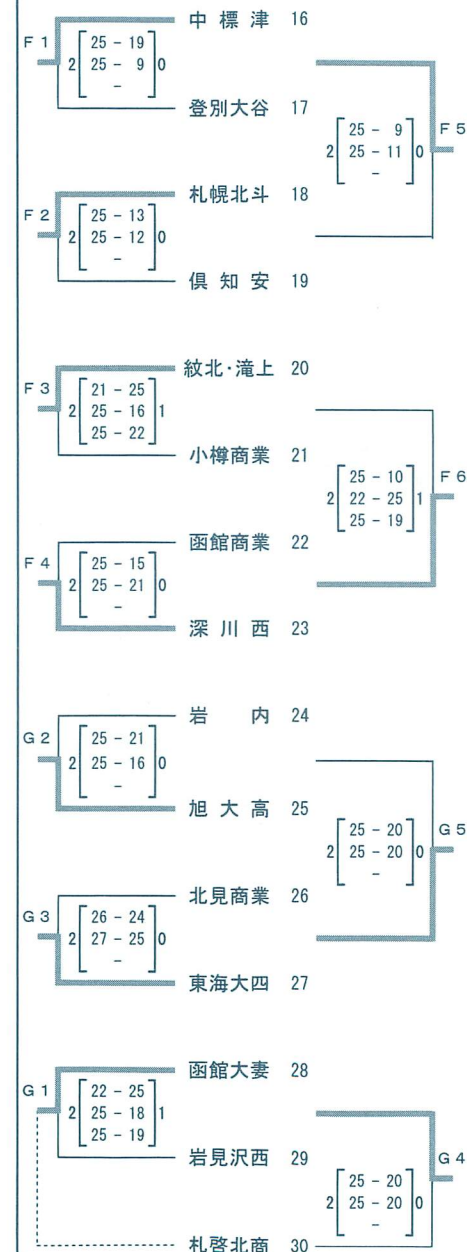
6月21日(土)
(小樽市総合体育館)

優勝
4年連続5回目の優勝
札幌大谷高等学校

6月20日(金)
(小樽桜陽高校体育館)



6月19日(木)
(小樽桜陽高校体育館)



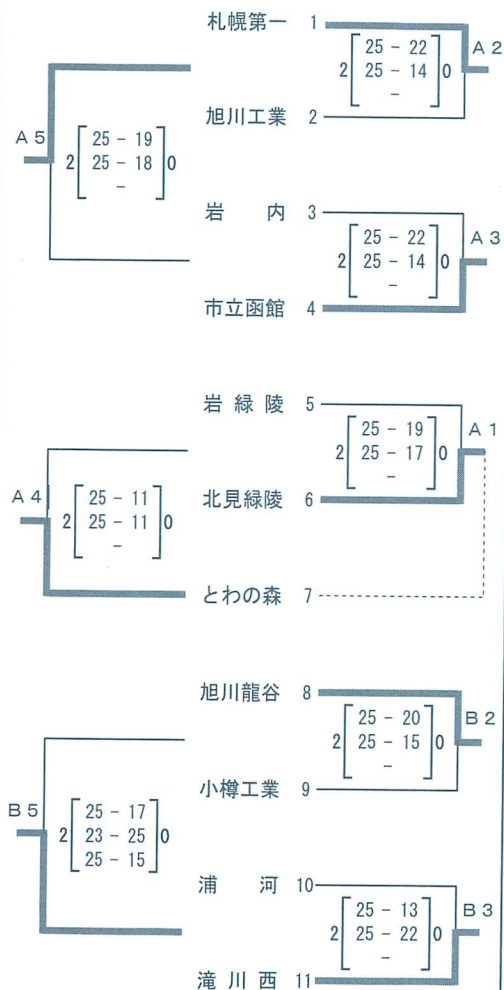
第1試合	第2試合	第3試合	第4試合	第5試合	第6試合
9:30~	10:30~	11:30~	12:30~	13:30~	14:30~

準決勝・決勝 6月21日(土)
9:30~ 男子準決勝 小樽市総合体育館(A・Cコート)
10:30~ 女子準決勝 小樽市総合体育館(A・Cコート)
12:00~ 男子決勝 小樽市総合体育館(特設コート)
13:30~ 女子決勝 小樽市総合体育館(特設コート)

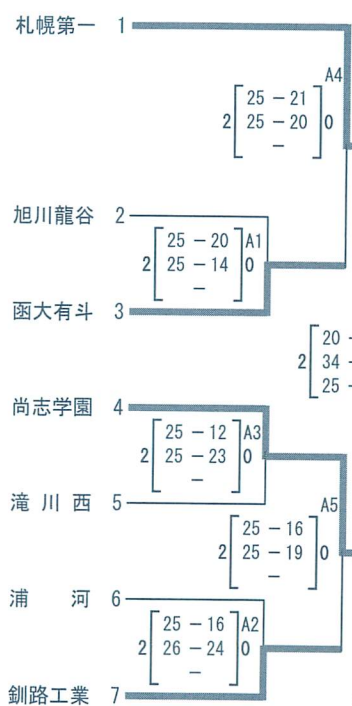
閉 会 式 小樽市総合体育館 メインアリーナ

平成20年度 第61回 北海道高等学校バレーボール競技選手権大会 【男子】

6月19日(木)
(小樽市総合体育館)



6月20日(金)
(小樽市総合体育館)

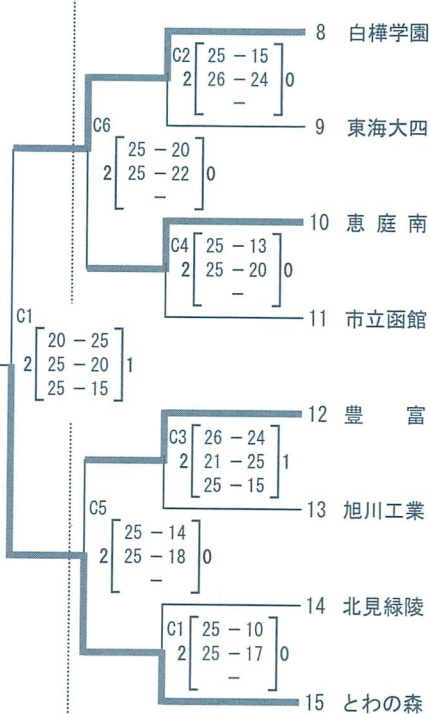


6月21日(土)
(小樽市総合体育館)

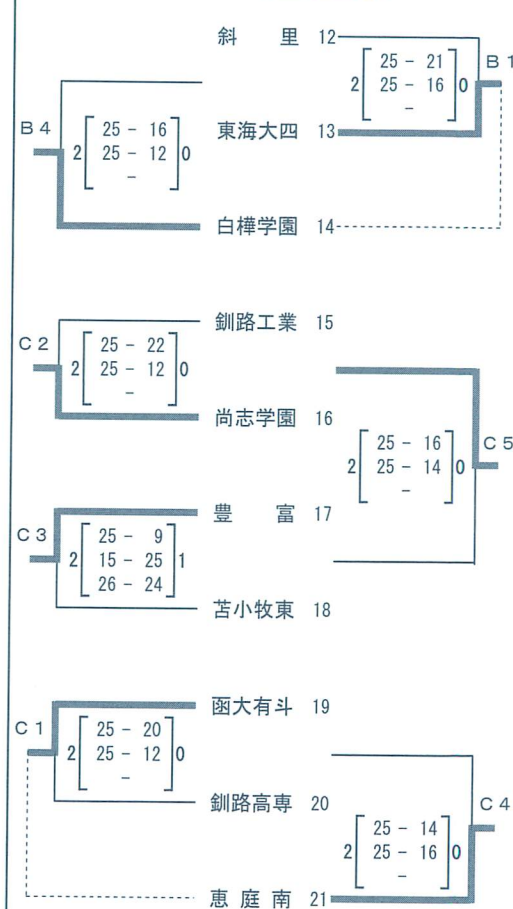
優勝
8年ぶり4回目の優勝
札幌第一高等学校

特1
 $\begin{bmatrix} 25-18 \\ 25-16 \\ - \end{bmatrix}$ 1

6月20日(金)
(小樽市総合体育館)



6月19日(木)
(小樽市総合体育館)



第1試合 9:30~	第2試合 10:30~	第3試合 11:30~	第4試合 12:30~	第5試合 13:30~	第6試合 14:30~
---------------	----------------	----------------	----------------	----------------	----------------

準決勝・決勝

6月21日(土)

9:30~	男子準決勝	小樽市総合体育館 (A・Cコート)
10:30~	女子準決勝	小樽市総合体育館 (A・Cコート)
12:00~	男子決勝	小樽市総合体育館 (特設コート)
13:30~	女子決勝	小樽市総合体育館 (特設コート)

閉会式

小樽市総合体育館 メインアリーナ

	優勝	準優勝	ベスト 4	ベスト 8	ベスト 16	決勝トーナメント 1回戦	予選グループ戦
女子	札幌大谷	札幌の手	旭川実業 帯広南商	岩見沢西 妹背牛商	留萌 札幌北斗	函館大妻 士別翔雲	函館商業 岩内
男子	札幌第一	とわの森	尚志学園 白樺学園	函大有斗 恵庭南	釧路工業 豊富	旭川龍谷 市立函館	天塩 苫小牧東 岩緑陵

優 秀 選 手 賞

男 子		女 子	
氏 名	高校名	氏 名	高校名
佐 藤 建	札幌第一3年	伊 藤 志 津 玖	札幌大谷3年
巖 城 裕 教	札幌第一3年	窪 田 彩 花	札幌大谷3年
坂 本 貴 秋	札幌第一3年	岩 崎 友 香	札幌大谷3年
倉 嶋 翔 平	札幌第一3年	八 幡 安 奈	札幌大谷3年
菊 地 将 馬	札幌第一3年	堂 端 ひ か り	札幌大谷3年
杉 本 帝 徳	札幌第一3年	和 田 麻 莉 子	札幌大谷3年
矢 野 諒 介	とわの森3年	山 岸 た み	札幌山手3年
三 上 広 彰	とわの森3年	吉 村 文 香	札幌山手3年
関 根 祐 司	とわの森2年	木 原 彩	札幌山手3年
田 城 貴 之	とわの森2年	小 西 楓	札幌山手3年
野 口 嶺	尚志学園3年	後 藤 公 香	旭川実業3年
高 木 祐 輔	白樺学園2年	横 山 聖 羅	帯広南商2年

優 秀 監 督 賞

【男子部監督】

新谷 富市（札幌第一教諭）

【女子部監督】

掛屋 忠義（札幌大谷教諭）

ベストレフェリー賞

関原 栄司（千歳北陽）

丸山 道博（小樽工業）

女子優秀入場行進賞

妹背牛商業高等学校

男子優秀入場行進賞

とわの森三愛高等学校

男子決勝戦評

序盤から堅さの目立つとわの森はサーブカットが不安定で、全日本ユースのセッター矢野を有するも単調な組み立てになってしまった。札幌第一は安定した両エースの活躍で終始リードを保ち第1セットを制した。札幌支部大会の雪辱を期す札幌第一は2セット目に入っても勢いを止めることはなかった。特に今大会最高身長者197cmの出未田選手（全国強化選手）の長さのある攻撃で、一方的な試合展開で9年振り4回目の優勝を飾り、通算17回目の全国大会出場となった。

（専門委員：帯広工業高校 後藤 忠範）

女子決勝戦評

第1セットは、序盤から終盤まで一進一退の攻防を展開したが、最後は高さのある札幌大谷のセンター窪田が連続してスパイクを決め逃げ切った。2セット目に入った札幌大谷は、安定したレシーブからの攻撃と札幌山の手攻撃を封じるブロックが冴え、一方的な展開となりストレートで勝利を収めた。札幌大谷は4年連続5回目の優勝となり、通算7回目の高校総体出場となった。惜しくも準優勝となった札幌山の手だが、13年振りの全国切符を手にし、名門復活をアピールした今大会であった。

（専門委員：札幌国際情報高校 佐藤 和幸）



審判部総括

「第61回北海道高等学校バレーボール選手権大会を終えて」

大会審判委員長 鈴木 和彦

異例なことだと思いますが、大会の2日前、諸事情により突然私が大会審判委員長を務めることになりました。丸山先生（小樽工業）と浅野先生（釧路湖陵）の代役でしたが、事前にお二人が準備されていたことを引き継いだため、何一つ慌てることはありませんでした。しかし、開会式で出場校全選手が入場を終え、勢揃いした光景を見た瞬間、言葉では表現しがたい責任の重さを感じました。大会が始まると例年同様に初日の予選グループ戦から熱戦が展開されました。最終日の準決勝ではジュースで30点を超える試合もあり、観衆は魅了されました。

もうずいぶん前のことですが私が高校生だった頃、この大会に選手として参加しました。その後、高校の教員となりC級、B級そしてA級審判員の立場で何度もこの大会に参加してきました。この大会は過去も現在も同じで話題が多く、周囲の注目度も高く、盛り上がりを見せます。初めて大会審判委員長の立場で参加した今大会もこれまで同様、素晴らしい大会でした。この高体連全道大会は、誰がどのような立場で携わろうとも、誰がどのような角度から見ようとも、素晴らしい大会であることを改めて実感しました。選手および当番校の小樽商業高校の皆さま、そしてあらゆる関係者の皆さま、お疲れ様でした。

過去1年間の大会結果

◆新人大会（平成19年12月7日(金)～9日(日) 開催地：釧路市）

性別	優 勝	準優勝	ベスト4	ベスト8	ベスト16		2 回 戦		1 回 戦			
女 子	札幌大谷	帯広南商	旭川実業	中 標 津	帯広三条	札山の手	釧路明輝	岩 内	旭川大学	美唄聖華	滝 川	富 良 野
				白樺学園	天 塩	函館商業	士別翔雲	紋 別	芦 別	函白百合	函館大妻	北見緑陵
			妹背牛商	虻 田	釧路商業	旭川商業	北見北斗	小樽商業	国際情報	大 麻	東海大四	苫小牧東
				札幌北斗	札幌藻岩	斜 里	留 萌	岩見沢西	恵 庭 南	釧路北陽	え り も	札幌北商
性別	優 勝	準優勝	ベスト4	ベスト8	ベスト16		1 回 戦					
男 子	札幌第一	白樺学園	函大有斗	旭川竜谷	東海大四	函館工業	大 麻	苫小牧東	浦 河	富 良 野		
				恵 庭 南	紋 別	小樽桜陽	岩見沢東	深 川 西	室 蘭 栄	斜 里		
			尚志学園	弟 子 屈	釧路工業	札幌工業	倶 知 安	別 海	北見緑陵	千 歳		
				豊 富	札 幌 西	とわの森	札幌藻岩	旭川工業	滝 川 西			

◆選抜南北海道（平成20年2月1日(金)～3日(日) 開催地：札幌市）

性別	優勝	準優勝	ベスト4	ベスト8	ベスト16	1回戦						
女子	札幌大谷	札山の手	市立函館	虻田	岩見沢西	倶知安	大森	千歳	とわの森	えりも		
				東海大四	苫中央	苫小牧東	札幌啓成	寿都	室蘭栄			
			札幌北斗	函館大妻	小樽商業	札幌北商	函館商業	静内	岩見沢東			
				恵庭南	美唄聖華	登別大谷	札幌藻岩	国際情報	函白百合			
男子	札幌第一	とわの森	尚志学園	函館工業	岩内	函サール	苫小牧東	市立函館	苫小牧工			
				札幌工業	大森	小樽桜陽	札幌手稲	浦河	室清水丘			
			札幌藻岩	札幌北商	江別	東海大四	室蘭栄	北広島	恵庭南			
				函大有斗	伊達緑丘	岩見沢東	札幌東陵	岩緑陵				

◆選抜北北海道（平成20年2月8日(金)～10日(日) 開催地：旭川市）

性別	優勝	準優勝	ベスト4	ベスト8	ベスト16	1回戦						
女子	旭川実業	帯広南商	妹背牛商	旭川商業	深川西	広尾	芦別	斜里	名寄	湧別		
				釧路明輝	釧路商業	滝川	稚内大谷	北見柏陽	紋別	士別・翔雲		
			旭大高	白樺学園	旭川西	留萌	別海	網走南丘	北見北斗			
				帯広三条	釧路北陽	中標津	網走向陽	天塩	富良野			
男子	白樺学園	弟子屈	豊富	釧路工業	紋別	帯広工業	深川西	稚内				
				北見緑陵	斜里	根室	網南丘・網向陽					
			旭川凌雲	滝川西	富良野	名寄						
				帯広三条	旭川工業	北見北斗						



◆天皇・皇后杯（平成20年9月21日(日) 開催地：千歳市開基記念総合武道館）

性別	優勝	準優勝	ベスト4	ベスト8
女子	Nakaichi 2001	とわの森高校	北翔大学	金ハクラブ
			m a g i c	札幌第一高校
男子	札幌大谷高校	札幌山の手高校	北海道V-spirit	手稲東中学校
			札幌大谷中学	札幌大学
				岩見沢教育大学
				函館弥生クラブ
				札幌ダックス
				北海学園大学

平成20年度北海道高等学校バレーボール競技選手権大会ランキング表

(平成20年6月末日現在)

女子の部

男子の部

位	学校名	点	出	位	学校名	位	学校名	位	学校名	点	出	位	学校名	位	学校名
1	妹背牛商	271	38	48	虻田	97	国際情報	1	東海大四	357	38	48	北見柏陽	99	伊達緑丘
2	旭川実業	270	32	48	函館東	100位グループ	函館西、室蘭東 室蘭大谷	2	釧路工業	240	53	48	小樽商業	99	利尻
3	札山の手	187	37	52	三笠			3	札幌第一	230	33	52	網走向陽	101	伊達
4	斜里	175	27	52	中標津			4	旭川西	160	35	53	名寄農業	101	札幌真栄
5	登別大谷	132	26	54	富川	103位グループ	滝川、札幌啓成 伊達、美唄聖華 当別、稚内商工 美幌、羽幌、天塩	5	美唄工業	117	26	54	滝川	101	旭川凌雲
6	岩見沢西	128	38	54	苫小牧東			6	函大有斗	112	34	54	札幌工業	101	北海道栄
7	札幌大谷	114	22	54	札幌東商			8	帯広農業	112	32	56	北見工業	105	美深
8	釧路星園	103	24	57	札幌東陵	112位グループ	恵庭南	9	網走南丘	110	29	56	旭川北	105	赤平
9	函館商業	91	31	57	紋別北			10	札幌藻岩	108	22	58	函館商業	105	釧路商業
10	帯広南商	90	27	57	函館大谷			11	とわの森	101	16	58	札幌光星	105	穂別
11	釧路商業	89	22	60	旭川竜谷	113位グループ	本別、木古内 羅臼、南茅部 士別、帯広北	12	釧路湖陵	96	27	60	釧路江南	105	湧別
12	旭川商業	83	20	60	釧路江南			13	小樽工業	83	36	61	稚内商工	110	釧路高専
13	岩見沢東	79	26	62	釧路湖陵			14	岩見沢農	80	23	61	室蘭栄	110	北照
14	苫中央	76	22	63	中札内	119位グループ	江差、旭大高	15	旭川東	79	17	63	岩緑陵	110	室蘭大谷
15	帯広大谷	73	26	63	旭北都商			16	白樺学園	76	22	63	紋別北	110	美幌
16	札幌北	72	14	63	室蘭商業			17	深川西	74	29	63	木古内	114	室蘭商業
17	旭川西	71	14	63	小樽潮陵	121位グループ	上川、札幌北陵 常呂、函白百合 長万部、室蘭栄 和寒、深川東商 旭川南、釧路北	18	函館東	73	22	66	旭川南	114	芽室
18	苫小牧西	68	16	67	札幌平岡			18	尚志学園	68	15	66	留萌	114	石狩南
18	札幌北斗	68	24	67	札幌平岸			20	札幌北	68	10	68	岩見沢西	114	札幌西
20	釧路北陽	66	20	67	遠軽	131位グループ	野幌、室清水丘 長沼、札幌新川 津別、三笠高美 枝幸、苫小牧南 阿寒、小樽工業 滝上、歌志内 網走、浜頓別 清水、札幌南 夕張北、 紋北・滝上	21	岩見沢東	64	19	68	遠軽	114	札幌白石
21	稚内	64	29	70	札幌東			22	旭川商業	59	12	68	白糠	114	札幌商業
22	白糠	63	11	70	砂川南			23	天塩	58	25	68	札幌新川	120	市立函館
22	芦別	63	16	70	八雲	149位グループ	大麻、札幌開成 赤平、網走向陽 標津、湧別蘭越 上士別、上士幌 池田、利尻	23	北見緑陵	55	19	68	根室	120	江差
22	北見商業	63	22	70	芽室			23	帯広柏葉	55	16	68	札幌東	120	小樽水産
25	深川西	61	19	70	滝川西			23	函館工業	55	15	74	栗山	120	仁木商業
26	札幌静修	60	17	70	函館稜北	160位グループ	共和、伊達緑丘 夕張、市立函館 浦幌、札幌稲雲 別海、駒苫小牧 えりも、奈井江商 北広島、士別商業 砂川北、士別・翔雲	26	苫中央	54	16	74	静内	120	えりも
27	帯広三条	55	20	76	札幌北商			27	旭川工業	45	16	74	苫小牧西	120	北広島
27	岩内	55	34	77	北見柏陽			27	斜里	45	15	77	砂川南	120	札幌月寒
29	函館北	51	17	78	訓子府	160位グループ	共和、伊達緑丘 夕張、市立函館 浦幌、札幌稲雲 別海、駒苫小牧 えりも、奈井江商 北広島、士別商業 砂川北、士別・翔雲	27	札幌南	45	9	77	夕張南	120	広尾
30	東海大四	48	17	78	岩緑陵			30	岩内	44	21	77	夕張工業	128	駒岩見沢
31	稚内大谷	46	19	80	江別			30	帯広工業	44	16	80	釧路北陽	128	大樹
32	函館大妻	45	18	80	名寄恵陵	160位グループ	共和、伊達緑丘 夕張、市立函館 浦幌、札幌稲雲 別海、駒苫小牧 えりも、奈井江商 北広島、士別商業 砂川北、士別・翔雲	30	函館北	44	12	80	富良野	128	立命慶祥
33	函館中部	40	13	80	小樽商業			33	稚内	42	20	80	夕張	128	富良野工
33	北広島西	40	13	83	追分			34	滝川西	39	19	83	深川農業	132位グループ 余市、函館高専 蘭越、苫小牧南 寿都、稚内大谷 長沼、札幌稲雲 富川、中札内 士別、函サール 阿寒、帯広北 紋北・紋別	
33	双葉	40	20	83	富良野	149位グループ	大麻、札幌開成 赤平、網走向陽 標津、湧別蘭越 上士別、上士幌 池田、利尻	34	小樽潮陵	39	14	83	函館西		
36	網走南丘	38	8	83	北見緑陵			34	夕張北	39	11	83	苫小牧工		
37	芦別商業	36	10	83	帯広柏葉			37	名寄	38	17	83	芦別総技		
38	留萌	35	13	83	寿都	160位グループ	共和、伊達緑丘 夕張、市立函館 浦幌、札幌稲雲 別海、駒苫小牧 えりも、奈井江商 北広島、士別商業 砂川北、士別・翔雲	37	恵庭南	38	7	83	札幌北陵		
39	倶知安	34	14	88	静内			39	苫小牧東	37	15	83	沼田		
40	札幌藻岩	32	10	89	月形			40	帯広三条	36	17	89	札幌開成		
40	美唄南	32	11	89	釧路西	160位グループ	共和、伊達緑丘 夕張、市立函館 浦幌、札幌稲雲 別海、駒苫小牧 えりも、奈井江商 北広島、士別商業 砂川北、士別・翔雲	40	函館中部	36	12	89	倶知安		
40	北見北斗	32	14	89	旭川北			40	旭川実業	36	10	91	深川東商		
40	名寄	32	15	89	広尾			43	北海	35	9	91	室蘭東		
44	小樽桜陽	29	17	89	白樺学園	160位グループ	共和、伊達緑丘 夕張、市立函館 浦幌、札幌稲雲 別海、駒苫小牧 えりも、奈井江商 北広島、士別商業 砂川北、士別・翔雲	44	室清水丘	34	12	91	旭川竜谷		
45	紋別	28	8	89	森			45	室蘭工業	32	12	91	弟子屈		
45	由仁商業	28	9	89	沼田			45	芦別	32	11	91	夕張東		
45	帯広農業	28	12	89	下川商業	160位グループ	共和、伊達緑丘 夕張、市立函館 浦幌、札幌稲雲 別海、駒苫小牧 えりも、奈井江商 北広島、士別商業 砂川北、士別・翔雲	47	小樽桜陽	29	12	96	士別商業		
48	旭川東	27	5	97	佐呂間			48	北見北斗	28	13	96	豊富		
48	浦河	27	8	97	熊石			48	浦河	28	12	96	砂川北		

※位=ランキング順位、点=ポイント（優勝10点、準優勝8点、B4 6点、B8 4点、B16 3点、1回戦2点、予選1点）、出=出場回数

春の高校バレー

選抜優勝大会北海道大会ラレキレグ表

(平成20年2月末日現在)

南北海道 女子				北北海道 女子				南北海道 男子				北北海道 男子			
位	学校名	点		位	学校名	点		位	学校名	点		位	学校名	点	
1	札山の手	247		56	倶知安			1	東海大四	332		53	月形		
2	登別大谷	191		56	小樽商業			2	札幌第一	217		53	伊達		
3	苫中央	121		56	とわの森			3	札幌藻岩	153		53	札幌清田		
4	札幌大谷	111		56	当別			4	尚志学園	103		53	夕張工業		
5	東海大四	100		60	夕張南			5	とわの森	102		53	札幌平岸		
6	岩見沢西	83		60	札幌新川			6	函大有斗	101		53	石狩南		
7	北広島西	73		60	岩緑陵			7	函館東	63		59	函ラサール		
8	函館商業	72		60	札幌開成			8	苫中央	59		59	苫小牧南		
9	函館中部	69		64	登別南			9	小樽工業	52		59	美唄		
10	札幌藻岩	63		64	駒苫小牧			10	岩見沢農	48		62	札幌白石		
11	函館大妻	54		64	札幌月寒			11	岩内	47		63	立命館		
12	岩内	50		64	美唄東			11	浦河	47		63	岩緑陵		
13	札幌北商	47		64	福島商業			13	函館中部	46		65	夕張南		
14	虻田	43		64	市立函館			14	札幌工業	45		65	野幌		
14	札幌静修	43		70	仁木商業			15	美唄工業	44		65	札幌稲雲		
14	苫小牧西	43		70	蘭越			15	札幌開成	44		68	札幌東		
17	函館北	41		70	美唄南			17	恵庭南	43		69	千歳北陽		
18	由仁商業	40		73	千歳			18	苫小牧東	40		69	札幌月寒		
19	双葉	36		73	夕張			19	函館北	38		69	札幌丘珠		
19	札幌平岸	36		73	留寿都			20	札幌南	37		69	桧山北		
21	苫小牧東	35		73	室蘭大谷			21	岩見沢東	35		69	札幌西陵		
22	室蘭商業	32		73	札幌北			21	札幌新川	35		69	札幌北商		
23	函館稜北	31		73	札幌南			23	室蘭栄	34		75	長万部		
24	函館東	29		79	苫総経済			24	札幌北陵	32		75	登別		
24	札幌東陵	29		79	千歳北陽			25	函館工業	31		75	様似		
26	札幌北斗	27		81	札幌北陵			26	北広島	30		75	夕張		
26	美唄聖華	27		81	三笠			27	静内	29		79	函館稜北		
26	岩見沢東	27		81	立命館			27	小樽潮陵	29		79	松前		
29	夕張北	25		81	函館西			29	札幌北	23		79	仁木商業		
30	静内	24		81	函館大谷			30	倶知安	22		79	穂別		
30	国際情報	24		81	桧山北			31	室清水丘	21		79	室蘭大谷		
32	札幌東商	23		81	静内農業			32	夕張北	20		79	札幌篠路		
33	月形	21		81	石狩			32	岩見沢西	20		85	市立函館		
33	野幌	21		81	札幌西陵			34	苫小牧工	18		85	八雲		
35	大麻	19		81	札幌白石			35	大麻	17		85	寿都		
36	室蘭栄	18		81	札幌真栄			35	北海	17		85	北照		
37	伊達	17		81	札幌篠路			37	江別	14		85	登別南		
38	恵庭南	16		81	美唄			37	栗山	14		85	札幌手稲		
38	恵庭北	16		94	大野農業			37	木古内	14		85	札幌東陵		
40	浦河	15		94	上磯			37	札幌真栄	14		85	札幌平岡		
40	小樽桜陽	15		94	函館遺愛			41	恵庭北	13		85	札幌似工		
40	熊石	15		94	余市			41	札幌旭丘	13		85	三笠		
43	小樽潮陵	14		94	共和			43	小樽桜陽	12		85	小樽商業		
43	室蘭東	14		94	伊達緑丘			43	室蘭工業	12		85	双葉		
45	寿都	12		94	富川			43	苫小牧西	12		85	夕張東		
45	森	12		94	様似			43	江差	12		85	双葉・潮陵		
47	室清水丘	11		94	石狩南			43	札幌西	12					
47	函白百合	11		94	札幌稲北			43	札幌光星	12					
47	江差	11		94	札幌稲雲			49	室蘭東	11					
50	苫小牧南	10		94	札幌清田			49	伊達緑丘	11					
50	札幌啓成	10		94	札幌第一			49	千歳	11					
50	北広島	10		94	栗山			49	美唄東	11					
53	江別	9		94	長沼										
53	えりも	9													
53	登別	9													



全国大会総括

◆平成19年度選抜全国大会（東京都）

（国立代々木競技場） 3月20日（木）～26日（水）

男子の部 【白樺学園】 [1回戦] 0-2 岐南工業（岐阜）

【札幌第一】 [1回戦] 不戦勝

[2回戦] 2-1 宇部商業（山口）

[3回戦] 1-2 福井工大福井（福井）

女子の部 【旭川実業】 [1回戦] 1-2 市立船橋（千葉）

【札幌大谷】 [1回戦] 1-2 島田商業（静岡）

選抜大会

男子優勝 東亜学園（東京）

準優勝 星城（愛知）

女子優勝 東九州龍谷（大分）

準優勝 古川学園（宮城）

◆平成20年度高校総合体育大会（埼玉県）

【女子】川越市 【男子】所沢市

8月3日（日）～10日（日）

男子の部 【札幌第一】 [予選グループ戦] 2-1 松阪工業（三重）

[1回戦] 0-2 大塚（大阪）

【とわの森】 [予選グループ戦] 2-1 熊本工業（熊本）

[1回戦] 1-2 岡山東商業（岡山）

女子の部 【札幌大谷】 [予選グループ戦] 2-0 高松東（香川）

[1回戦] 0-2 北九州（福岡）

【札幌の手】 [予選グループ戦] 0-2 金沢商業（石川） [敗者復活戦] 2-1 市立柏（千葉）

[1回戦] 不戦勝

[2回戦] 0-2 東海大三（長野）

高校総体

男子優勝 星城（愛知）

準優勝 深谷（埼玉）

女子優勝 東九州龍谷（大分）

準優勝 九州文化学園（長崎）

◆平成20年度国民体育大会（大分県）

少年男子 [1回戦] 0-2 鹿児島選抜（鹿児島）

少年女子 [1回戦] 0-2 三重県（津商業）

国民体育大会

男子優勝 愛知選抜

準優勝 鹿児島選抜

女子優勝 誠英（山口）

準優勝 東九州龍谷（大分）



佐々先生のバレーボール昔ばなし（高体連物語） 第一話

【1】戦前本道のバレーボールは高等女学校から

大正10年（1921）前後から本道でバレーボール（終戦直後ぐらいまでは「排球」と言っていた）が行われた記録があるが、当時高等女学校で女子向きのスポーツとして全道的な広がりを見せて普及、課外活動のメインの一つとなっており、戦後バレーボール復活の原動力の一つとなった。和服の袴、襷が

けで女学生が排球に興ずる、貴重な写真も残されている。

主な女学校は（現校名）、庁立札幌（札幌北）、札幌市立（札幌東）、庁立岩見沢（岩見沢東）のほか、野付牛（北見）、小樽、旭川、函館、室蘭、釧路、根室、等の公立女学校に加え、札幌の私立北海高女も常連チームで、女学校バレーボールが広く行われた。

今の高校男子に当たる「旧制中学校」は高等女学校から遥かに遅れ、普及も「札幌一旭川」の狭い範囲でチーム数は少なく10チームにも満たず、旭川商業、札幌二中、北海中、札幌一中、札幌商業等あったが、レベルは高く、一般チームとも互角に試合をしていた。

【2】ボール作りの3点セットの新人選手への恐怖

戦前から戦後のある時期まで、バレーボールは、縫い革外皮、内球ゴムチューブ、空気入れ、口紐通し器具によりプレー用のボールを作るのだが、外皮以外の3つはボール作りをさせられる新入生・下級生にとっては「恐怖の3点セット」であった。外皮にチューブを入れ空気入れて膨らませ、チューブの口を輪ゴムできつく締め、外皮の中に押し込む、とここまでは大丈夫なのだが、初めてボールを扱う生徒にとってはここからが大変。パンパンに空気の入ったボール締め口の数個の穴に、紐通しの金具の穴に通した革紐を通してから、きつく締めなければならないのだが、この時金具の先を誤った方向に押すと、チューブに刺さり破裂、恐怖の瞬間を迎えるのであった。

札幌啓北商業高等学校 女子バレーボール部

南から 北から

釧路工業高等学校 バレーボール部



前任の和田肇先生、中嶋義明先生によって築き上げられた市内では伝統のあるバレー部ですが、6年前に私が着任して指導を始めてから部員が激減し2年前にはわずか4名になり、部員でない生徒にお願いして大会に出場するという悲惨な状況になりました。

現在は男子も募集し、バレーボール部女子・同男子ということで、一つの部に男女がいる陸上部や羽球部のような形で活動しています。その結果、廃部寸前だった部に活気が戻り、3年生が引退した今は女子14名、男子8名で活動しています。練習はほぼ毎日、午後7時までやっています。木曜日は体育館を使えませんが、それ以外はコート1面でネットを斜めに張ったりしながら男女が一緒に練習しています。パス練習などでは男女でわざと組ませたりして練習させたりもしています。男女を同時に活動させ指導することを心配していただく事も多いのですが、これが他校とは違う本校バレー部のセールスポイントだと思っています。以前であればハードな練習や厳しい指導のせいで暗い雰囲気になることが多かったのですが、男女お互いが励まし合ったり、良い意味で張り合ったりしているので、雰囲気は良いと思います。

悩みはチーム練習の際、男女同時だと細かいところに目が行き届かなくなることですが、練習試合をしていただいている男女各チームの先生方のご厚意で、休日は午前男子、午後女子というようになるべく時間差で練習試合を組みながらチーム力アップに取り組むようにしています。

昨年度は新人大会・選抜大会・高体連とも全道大会に出場できましたが、全道の壁は厚く初戦敗退が多くて満足のいく結果ではありませんでした。新チームは「いい顔・いい声・いいバレー」のモットーで先輩の残してくれた結果を上回りたいと思っています。

(監督 西岡 哲哉)

本校のバレーボール部の歴史は大変に古く、昭和21年卒業のOBがいることを十数年前に知りました。

その後、偉大な諸先生・先輩OBのご尽力により全国大会(選抜・高体連・国体の合計)に25回出場し、1972年の春の選抜ではベスト4に入賞することができ、1986年までにベスト8-2回、ベスト16-2回の輝かしい成績を残しました。

今年度、高体連地区当番校を受けるに当たり、優勝回数が47回(未確定は含まず)となっています。国体・選抜も同様であると思います。OBにおいては、実業団選手・役員、審判員、各小中学校の指導者となったり、体が動く者については、クラブチーム・ソフトバレー等でバレーに関わり、楽しんでいます。

この伝統を活かし、かつ発展させているのは、かつて釧路のバレーが強い当時のご子息がここ数年各校に入学したり、各小中学校の指導者となり携わっているからだだと思います。以下は指導者として活動しているチームです。

江別三中<中学男>、江別中央ジャンプ<小学女>、弟子屈<小学男>、釧路JVC<小学男>、釧路オリオン<小学男>

現在の私があるのは、釧路協会・北海道協会が隆盛だった高校生から現在の教員時期にたくさんの素晴らしい先生方・先輩方と巡り会い、現役時代での大会参加や指導者講習会、そして懇親会等とバレー関係者との長期に亘る交流によるものと思い、深く感謝しています。

(監督 松田 一夫)

提 言

ホームページその他で様々な提言が寄稿されてきます。今回はその中でも発展的な2つの提言を掲載します。

(十勝在住者) 私の住んでいる地域から、高体連の全道大会へは、男子が1チーム進みます。その1チーム以外は全道大会へは進めません。ということは、地区大会で1つ負けると、ほとんどといっていいほど、全道への道は終わってしまいます。

そこで、提案ですが、隣接する地域から、全道へ進むチームの次に成績の良かったチームを集めて、その中から1チームに全道への出場権を与えるというのはどうでしょうか？

最近プロ野球でもクライマックスシリーズとって、ペナントレースの2、3位であっても日本シリーズへ出場する可能性があります。地区大会でも1つ負けると、負けた同士が消化試合のような雰囲気での試合になります。でも、2番手であれば、まだ、可能性が残っているとしたら、選手はどう考えるでしょうか。地区大会で2番手でも、隣接する地区の2番手に勝つ事によって全道への道は開かれるのです。

運営する協会などは大変だとは思いますが、「1つ負けたら終わり」よりは、選手のモチベーションは上がると思います。また、必死に試合をすることで技術も向上するでしょう。消化試合も減って大会自体も盛り上がると思います。実行できるかどうかはわかりませんが、検討の余地はあると思います。

(道東のチーム指導者) 現在の高校生のバレーボールとの関わり状況は、8月の国体全道大会がなくなり、公立高校の8割方は6月までで大会とは縁が切れ、3年生においては代替大会の新人大会前に練習を手伝いには来てくれますが、(チームの半数以上が高校よりバレーを始めた者達なので、冷や汗ブレーの連続みたいなもので) みんなで楽しむまで上達していないのが現状です。国体全道大会が消滅したために、8月下旬まで3年生が部活動に携わり、下級生にバレーを教え、自らも向上し、バレーに対しての試行錯誤を繰り返しながらバレーを楽しむことが出来なくなりました。これだけ大会参加期間の短い競技はバレーと野球くらいです。大会参加期間の長いサッカー・バスケットにおいてはどんどん競技人口が増え、活性化が促進されています。バレーの私立高校においては、9月末に全道大会・12月末に全国大会、かつその枠が3～4校あり、活性化・生涯スポーツとしての位置づけがなされているのではないかと思います。下級生にしても、いつも同じ先生から教えてもらうより、尊敬する先輩から教えてもらうことにより、先輩・後輩の一体感も生まれ、吸収効率も上がるというものです。

高校卒業後は就職・進学と進路が分かれますから、高校時代に「生涯スポーツ」としての位置づけをしなければならないと思います。高体連以降は忙しい時期が続きますが、そうすることにより長期的には競技人口も増えるのではないかと。

帯広協会ではいち早く代替措置として、大森杯を3年生参加可能な大会とすることで対応しています。そして今年度においては同協会後藤先生のご尽力により「第1回ドリームカップ」を立ち上げていただき(釧路開催)、盛会に終了することができました。中でも、全道大会に出場できなかった選手がほとんどの釧路選抜Bチームにおいては、初日はうまくいかなかったプレーでしたが、二日目には素晴らしいチームワーク・コンビを展開できるようになりました。たった1週間に1・2度だけの練習でも上手になると、生徒はもちろん、観客一同強く感動しました。子供たちはバレーが好きです。そのチャンスを我々は作ってやらなければならないと思います。この大会は当初、帯広・釧路の二協会だけでしたが、できれば数年後には近隣協会・全道大会規模にまで広げていけると活性化の一助になるのではないかと思います。

小・中・高校のチーム数が少子化の影響下でもそれなりに存続しているのに、社会人のチームになると激減する現状は、在学中に子供が「生涯スポーツ」として「バレープレーヤーとしての意識づけ」がなされず、「勝敗のみ」とか「次大会のシード権獲得」のためにバレーをしていたからではないか？元々は「楽しそう」という興味から始めたスポーツが勝敗第一主義になっているのではないかと。逆に「楽しみ(＝継続性)」「遊び」の大会が在学中に一つくらいあっても良いのではないかと思います。

我々が永年諸先生方と接し、勉強し、バレーを楽しんできましたが、逆に生徒からも良い経験・勉強もさせてもらうことも多々ありました。人間はお互い活かされています。指導者も選手も互いに活かされています。他人を活かすことにより自分も活きる。自分だけの勝ち負けにこだわらず、お互いが向上することにより、自分も高め、仲間から学びそれを上回れるように努力した方が、よりバレー人生を楽しめると思います。そしてそれが北海道バレーボールの真の活性化につながるのではないかと思います。

新人大会を「ドリームカップ」に置き換え、3年生だけの混成チームの大会にし、「生涯スポーツ」としての意識付けのものとする。そして1・2年生においては、本州の強豪校との差は運動能力の差であるから、その時期に基本からしっかりと体作りから、怪我・故障の少ないチーム作りができ、選抜大会でもそれなりの結果をだせるのではないかと思います。

平成19年度 高等学校9ブロック長身選手発掘育成合宿

北海道ブロック合宿参加者名簿

主 催 北海道高等学校体育連盟バレーボール専門部

会 場 芦別市総合体育館

期 日 平成19年12月23日(日)～25日(火)

共 催 北海道バレーボール協会、芦別市

中央講師 高梨 泰彦(JVA科学研究部部員)



◆ 全 道 選 抜 指 名 選 手

【 男 子 】						【 女 子 】					
	氏 名	学年	身長	学校名	備 考		氏 名	学年	身長	学校名	備 考
1	木幡 洋介	2	191	帯広三条	昨年参加	1	木村 恵莉	1	181	札幌北斗	
2	中村 直貴	2	189	釧路工業	昨年参加	2	横山 衣依	2	180	妹背牛商	昨年参加
3	福澤 大和	2	181	市立函館	昨年参加・セッター	3	窪田 彩花	2	181	札幌大谷	昨年参加
4	宮崎 達也	2	181	旭 川 西	昨年参加・セッター	4	滝上やよい	2	180	札幌北斗	昨年参加
5	中村 和徳	1	195	帯広三条		5	山本 雅実	2	178	とわの森	昨年参加
6	名手 大樹	2	188	札幌工業		6	豊澤 瞳	2	178	虻田高校	昨年参加
7	工藤 平史	1	188	釧路高専		7	小泉李佳子	2	172	札幌第一	
8	大西 健太	1	187	北 海		8	斉藤すみれ	1	173	東海大四	
9	佐藤 暢紀	1	187	札幌藻岩		9	杉浦妃奈美	2	175	東海大四	
10	清野 皓介	2	186	札幌月寒		10	阿部 仁美	2	174	札幌白石	
11	濱谷 卓	2	186	琴似工業		11	和田麻莉子	2	174	札幌大谷	
12	緑川 誠也	1	186	札幌開成		12	真田 櫻	2	173	妹背牛商	
13	遠藤 雅文	2	185	札幌平岡		13	渡辺 美沙	2	175	旭川農業	昨年参加
14	荒田 洋樹	2	185	札幌工業		14	川口満里奈	2	173	札幌北陵	
15	渡辺 真二	2	185	北見縁陵		15	鈴木 思実	2	174	登別大谷	
16	菅原 光浩	2	185	倶 知 安		16	小鳴海杏菜	2	172	旭川商業	
◆チーム参加						17	長谷川 彩	2	173	岩見沢西	
とわの森三愛高等学校			恵庭南高等学校			18	横山 聖羅	2	175	帯広南商	昨年参加
氏 名	学年	身長	氏 名	学年	身長	19	二橋 萌未	2	173	白樺学園	
矢野 諒介	2	177	武田 章	2	176	20	中嶋 恵美	2	173	札幌藻岩	
浅井 健	2	183	鹿内 大輝	2	170	21	花井亜有菜	2	172	札幌旭丘	
向島 拓海	2	181	大内 友輔	1	165	22	板矢めぐみ	2	172	帯広南商	セッター
三上 広彰	2	172	宮 佑綺	2	179	23	後藤 公香	2	163	旭川実業	セッター
水野 靖秀	2	176	高橋 伴和	2	185	24	館田 美沙	1	152	岩見沢西	セッター
田城 貴之	1	186	瀬戸 紳弥	2	176						

平成20年度 北海道高校選抜チームメンバー紹介

男子選抜						女子選抜					
【監督】 新谷 富市 札幌第一高校						【監督】 掛屋 忠義 札幌大谷高校					
【コーチ】 山田 和弘 とわの森三愛高校						【本大会コーチ】 平本 和久 妹背牛商業高校					
【コーチ】 奥山 諭 札幌開成高校						【本大会コーチ】 出倉 諭 旭川実業高校					
【コーチ】 太刀川建一 札幌東陵高校						【コ ー チ】 富田 誠治 帯広南商業高校					
						【コ ー チ】 渡辺 徹 札幌山の手高校					
						【マネージャー】 佐藤 和幸 札幌国際情報高校					
No.	氏 名	身長	高 校 名	年	ポジション	No.	氏 名	身長	高 校 名	年	ポジション
1	佐藤 健	180	札幌第一	3	サイド	1	堂端ひかり	172	札幌大谷	3	ライト
2	矢野 諒介	178	とわの森	3	セッター	2	伊藤志津玖	172	札幌大谷	3	レフト
3	家近 滉一	183	東海大四	3	サイド	3	窪田 彩花	181	札幌大谷	3	センター・レフト
4	坂本 貴秋	185	札幌第一	3	センター	4	岩崎 友香	169	札幌大谷	3	センター
5	野口 嶺	183	尚志学園	3	サイド	5	八幡 安奈	159	札幌大谷	3	リベロ
6	本宮 修平	183	東海大四	3	センター	6	横山 聖羅	175	帯広南商	3	レフト
7	巖城 裕教	165	札幌第一	3	セッター・リベロ	7	板矢めぐみ	175	帯広南商	3	セッター
8	三上 広彰	170	とわの森	3	サイド	8	渡辺 葉月	168	帯広南商	3	センター
9	杉本 帝徳	170	札幌第一	3	リベロ	9	木原 彩	162	札幌山の手	3	セッター
10	出未田 敬	197	札幌第一	2	センター・サイド	10	小西 楓	162	札幌山の手	3	リベロ
11	田城 貴之	187	とわの森	2	センター	11	会田 佑衣	172	旭川実業	3	センター・ライト
						12	北口真奈美	171	妹背牛商	3	プレイングマネージャー

《男子大会結果詳細》

《女子大会結果詳細》

【1回戦】

北海道選抜0 (17-25/20-25) 2 鹿児島選抜

【1回戦】

北海道選抜0 (19-25/15-25) 2 三重県 (津商業)

スタッフ・選手の皆さん、

ご苦労様でした!!

編集後記

今回が2号の機関誌、昨年創刊号を発行するのにかけた労力(3年越しの準備でした)に較べれば、原稿執筆へのご理解・ご協力、紙面割付、印刷業者との折衝等

迅速に解決することができました。

これも関係されている皆様の積極的なご協力・ご理解の賜物と感謝しております。今回からはじめた『佐々先生のバレーボール昔ばなし』は貴重な資料として残せるよう、先生には何年もかけて加筆していただきたいと願っています。『提言』に関しては、HPを管理している立場上多くの意見・要望を受ける中で発展的なものは公開していこうと言う意図で今回は紹介してみましたし、今後も継続させたいと考えております。内容の良し悪しは別として、現在の北海道高校バレーボールへの貴重な意見として読者みなんで考える機会になればと思います。『北から南から』は悩んだ末に釧路工業・札幌啓北商業の2チームにしました。松田一夫、西岡哲哉両監督とも快く協力してくださいました。次回は、南が男子、北が女子の予定です。紹介して欲しいチームや推薦したいチームがあればご連絡下さい。『ランキング』は年々更新をつづけて、10年目になります。当初このランキングには批判的な意見も寄せられましたが、継続することによりそのチームの歴史を垣間見ることができる「記録」となってきたような気がします。この機関誌が今後どのように継続されていくのか模索の状態で、より良い形で残っていくことを期待したいと思っています。

(編集責任者 高田)